

■今年度の課題と学習指導の重点

【小学校】

国 語

全国の平均正答率と比較して、「話すこと・聞くこと」に課題が見られる。

「話すこと・聞くこと」では、スピーチメモなどを活用して、目的に応じた発表の仕方や、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考える。また、目的や意図に応じて、資料を使って話したり、話の要旨を簡潔にまとめて書いたりする。

算 数

全国の平均正答率と比較して、「図形」と「測定」の領域に課題が見られる。

「図形」では、図形の性質や構成要素に着目し、図形の面積の求め方を理解したり、具体物やICTを活用して、図形を分解したり、複数の図形を組み合わせていたりして、図形についての見方や感覚を豊かにしていく。

「測定」では、二つの差を求めるために必要な数値を選びその求め方を考えたり、条件に合う時刻を求めたりする。

【中学校】

国 語

全国の平均正答率と比較して、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域に課題が見られる。

「話すこと・聞くこと」では、話合いの話題や方向を捉えて話す内容を考えたり、話合いの場面で、役割を意識して発言したりする。

「書くこと」では、書いた文章を互いに読み合ったり、文章の構成の工夫を考えたりして、文章の構成や展開、表現の工夫などを考える。

「読むこと」では、文脈における語句の意味を理解したり、場面の展開、登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解したりする。

数 学

全国の平均正答率と比較して、「数と式」「図形」「資料の活用」の領域に課題が見られる。

「数と式」では、数量関係を表す具体的な場面を想定して、一元一次方程式をつくり、数量の関係を表すことができるようにする。

「図形」では、錯角が等しくなることについて根拠となる関係を、記号を用いて数学的に説明する活動などを充実させる。

「資料の活用」では、与えられたデータから中央値を読み取ったり、ヒストグラムからある階級の度数を読み取ったりする。

伊奈町全体としては、上記の課題が見られた。このことを踏まえ、各学校においては、授業改善により一層努めるとともに、一人一人の理解度や定着度に応じた適切な支援を行っていくようにする。